

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	救急医療体制運営事業 (410206)			担当課	健康医療課		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	吉田 和彦		
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 保健衛生総務費	決算附属資料	146	頁	
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等	-		
	施策名	救急医療を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	外科救急並びに休日の夜間、長期休日の歯科における急患の医療を在宅当番医で実施することにより、初期救急の充実と併せて休日の入院を必要とする重症者を受け入れる二次救急の支援を図る。 このことにより、市民はいつでも安心して診療を受けることができる。						
	対象者	全市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.22		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 市立福知山市民病院、福知山医師会、京都ルネス病院						
	事業概要	○休日の在宅当番医制対策 休日における内科及び小児科の一次救急患者の医療を確保 ○休日の外科系在宅当番医への運営補助 ○休日の二次救急体制の維持 夜間及び休日における二次救急患者の医療を確保するため、市立福知山市民病院及びルネス病院の事業運営に要する経費に対する補助 ○休日等歯科診療所運営 休日の歯科救急医療の確保						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		在宅当番医制運営事業委託		在宅当番医制運営費用			7,110	
急患受入れにかかる謝礼		外科系在宅当番医、二次救急謝礼・歯科在宅他			6,896			
救急診療体制負担金		市立福知山市民病院への負担金			2,152			
関連事業	休日急患診療所維持管理経費、運営経費							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		16,301	16,301	16,301	16,681	
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		16,123	16,301	16,301	16,681	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		178	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.1/0	0.2/0	0.2/0		
概算人件費・・・④		800	1,600	1,600				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			17,101	17,901	17,901	16,681		
執行状況	執行額・・・⑥		16,301	16,158				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.1%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		休日歯科診療所受診者数	人	36 / 36	46 / 36	/ 36	36	
		休日急患診療所受診者数	人	1318 / 1400	1538 / 1400	/ 1400	1400	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		休日急患診療所開設日数	日	71 / 71	71 / 71	/ 72	71	
		単位あたりコスト		229.6	227.6			
休日歯科診療所開設日数	日	4 / 4	4 / 4	/ 4	4			
単位あたりコスト		4,075.3	4,039.5					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民が安心して医療を受けるためには、夜間及び休日に患者を受け入れる医療機関を確保することが必要である。安心安全な街づくりのため、外部への委託は馴染まない。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	救急医療体制を維持できる医療機関は限られることから、削減余地はない。急な発病や負傷した際には、誰でも診療を受けられることから、受益機会は均等である
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	利用者数を増加させることが目的ではないが、利用者数を見ることで医療情報が市民に適切に提供されているかどうかを測ることができる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	年間を通じ、夜間・休日等の救急医療体制を確保した結果、市民がいつでも安心して医療を受けられている。	
	今後の課題及び方向性	重症患者への医療の確保は、安心して暮らせる街として欠かせない。今後人口は減少するものの、救急医療の需要が減少することは想定しづらく、これからも、引き続き救急告示病院として協力していただけるよう、体制維持のための支援は、責任をもって実施していかなければならない。 また、引き続き市民に対し、救急医療体制についての周知広報をホームページや広報ふくちやま等を利用し実施していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	救急医療委託業務(定額分)については、業務内容の明確化などを行った。 市民がいつでも安心して診療を受けることができるようにするため、継続して、外科救急並びに休日の夜間、長期休日の歯科における急患の医療を在宅当番医で実施し、初期救急の充実と併せて休日の入院を必要とする重症者を受け入れる二次救急の支援を図っていく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	休日急患診療所費特別会計繰出金 (410214)			担当課	財政課	
	開始年度	昭和52(1977)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 衛生費	項) 保健衛生費	目) 休日急患診療所費	決算付属資料	158	頁
	施策の大綱	保健・医療・福祉の包括的な推進			関連計画等		
	施策名	救急医療を充実させる			地方自治法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	休日急患診療所費特別会計の安定的な運営を図ります。					
	対象者	休日急患診療所費特別会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	休日急患診療所費特別会計運営に必要な一般経費等に対して繰出金を支出します。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		繰出金		休日急患診療所費特別会計への繰出金			25,799
関連事業	休日急患診療所費特別会計各事業						
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①		9,382	9,783	9,630	8,736
		補正予算等・・・②		1,151	17,473		
		繰越し等・・・③		0	0		
	財源内訳	一般財源		10,533	27,256	9,630	8,736
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.01/0	0.01/0	0.01/0	/
概算人件費・・・④		80	80	80			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			10,613	27,336	9,710		
執行状況	執行額・・・⑥		10,533	25,799			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	94.7%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		繰出金決算額	百万円	10.5/9.4	25.8/9.8	/9.6	/
		単位あたりコスト		-	-		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・繰出金により、特別会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		